

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クラブ我孫子校		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 3日		～ 2026年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 3月 3日		～ 2026年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援と小集団活動の双方を取り入れ、課題や目標に応じた支援を行っている。	個別及び小集団それぞれにおいて、子どもの課題や目標に応じた活動内容を検討し提供している。	新しい支援内容や、支援ニーズに対する支援方法やプログラム作成に継続的に取り組む。
2	子どもそれぞれの特性や発達段階に応じた支援を行っている。	日々の共有や振り返りを通して、子どもの状況や環境の変化に柔軟に対応できる体制づくりを行っている。	外部講師による研修や事例検討を取り入れ、職員の専門性向上とサービスの質の向上を図る。
3	アプリを活用し、保護者との連絡や情報交換を行っている。	アプリを活用し、利用状況や日々の様子を保護者と共有し、連携を図っている。	各種連携や情報共有の効率化に向け、システム性向上に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域における事業所の特徴や取組についての認知が十分ではない。	事業所の広報活動に十分な時間を確保できていない。	ホームページやブログの更新頻度を高め、情報発信の強化に取り組む。
2	個別支援の時間確保や送迎を行っていないため、すべての利用希望に十分対応できていない。	送迎や立地条件等により、柔軟な対応が難しい状況がある。	可能な範囲で利用時間の調整を行い、多くの利用者の希望に応えられるよう努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 クラップ我孫子校

公表日 年月日 2026年 3月 20日

利用児童数

44

回収数

27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	6	1	4	・もう少し広いと良いと思います。	・限られた空間を有効活用するため、活動内容や時間帯ごとにスペースを分けるなど運用面を工夫し、安全で十分な活動ができるよう調整します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	5		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	4	2	4	・ビルの階段が狭く遊離の時にスムーズにできず不安です。	・階段の安全な利用方法について定期的に避難訓練を実施します。 ・緊急時の誘導体制を強化し、必要に応じて人的支援を配置して安全確保に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	3	0	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	2	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	2	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3	0	3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	6	0	4		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	10	12		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	8	10		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	19	6	1	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	4	1	・入会して間もないのでまだ面談は行われていない。	6ヶ月以内での面談時期の目安を明確化し、個別にご案内させていただきます。。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	3	0	4		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	13	9			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	8	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	5	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	5	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	4	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	3	0	10		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	7	0	0	・居場所になっています。	今後子どもたちが楽しめるよう工夫していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	4	0	1	・子供に寄り添い話を聞いてくださり落ち着いて勉強等に取り組んでいます。 ・とても満足しています。 ・大変お世話になっております。ありがとうございます。	引き続きご満足いただけるよう支援を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	クラブ我孫子校				公表日	2026年 3月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	支援内容や利用者の状況に応じた事業所環境の整備を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	児童の精神面や健康状態に応じて、担当職員の調整等、適切な行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		建物構造上バリアフリー化が難しいので、可能な範囲で検討していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃・消毒に加え、不要物の整理整頓を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	状況に応じて静養室や相談室を活用し、適切な支援環境の確保に努める。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	支援前後の共有会において、目標設定と振り返りを行い、PDCAサイクルを実施している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケート結果を基に、事業所運営の改善について検討・実施している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎日の共有会や1on1・月例ミーティング等を設け、事業所運営の改善を検討・実施している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	本部による定期チェックを行っている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	定期的な研修会を実施している。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページ上で公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	利用開始前の面談や体験、定期的なモニタリング、日々のコミュニケーションを基に、適切な計画作成に努めている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児発管を中心に、日々の共有会やケース会議・月例MTG等において、職員全体で意見交換を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	日々のケース会議において、職員間での情報共有を適切に行うように努めている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメント時にはチェックシート等を活用し、適切な支援につなげるため、利用者の状況把握に努めている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	児童の状況や保護者の意向等各情報を考慮して、計画を作成している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	児発管を中心に、日々の共有会・ケース会議等にて職員全体で意見を出しています。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	保護者および利用者に丁寧にヒアリングを行いながら、活動内容を設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	利用者の状況や保護者の意向等を踏まえ、支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援の前後に共有会等の情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援の前後に共有会等の情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録を適切に行い、ケース会議等において支援内容の検討に活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	個別支援や小集団支援を活用し、利用者の状況に応じた支援形態で取り組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	利用者へのヒアリングや日々の支援の中で、活動内容を主体的に選択できる機会を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	原則として、児発管等、利用者の状況を十分に把握している職員が対応している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	相談支援専門員を通じた情報共有に加え、必要に応じて学校等関係機関との連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	相談支援専門員を通じた情報共有に加え、必要に応じて学校等関係機関との連携を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	相談支援専門員を通じた情報共有に加え、必要に応じて学校等関係機関との連携を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7		当施設からの積極的な情報提供はしていないが、今後必要に応じて行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	相談支援専門員を通じた情報共有に加え、必要に応じて学校等関係機関との連携を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		交流の機会について地域資源の状況等に合わせ、今後検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	自立支援協議会等へ参加し、地域の関係機関との情報共有や課題の共有を図っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	電話・面談・日報やチャットを使い、日頃から情報提供を行っており。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		今後、家族参加型の支援等についての情報提供を行う。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援や面談時等に本人・保護者からヒアリングを行い、適切な対応に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	作成した個別支援計画は説明・配布・押印（サイン等）で同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	モニタリング・相談面談や日頃のコミュニケーションなどの際に家族支援に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		今後、検討および実施できるようにする。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情の内容と原因・対策を早急に検討し、日頃の共有会等の場にて周知・対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HPや会報誌で、事業所の活動概要や行事予定などの周知を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	設備設定・マニュアル等で個人情報の対策と注意喚起を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	一人一人のペースや状況に合わせ、寄り添ったコミュニケーションを心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		今後、地域住民参加型の行事開催等を検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	事業所にはマニュアルを設置し、職員に研修・訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	事業所にはマニュアルを設置し、職員に研修・訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時にヒヤリングを行い児童の状況・対処方法を確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時にヒヤリングを行い児童の状況・対処方法を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	事業所にはマニュアルを設置し、職員に研修・訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	事業所には事業所に安全設計等の各資料を掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事業所ではヒヤリハットの記録と閲覧を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	事業所ではマニュアルを設置し、職員に定期的な研修・訓練を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	事業所ではマニュアルを設置し、職員に定期的な研修・訓練を実施している。また、契約時に説明を行い同意を得ている。		